

太宰府中学校 | 学年だより

第14号 R5.10.2 文責:1年学年主任

中学校の「通知表」のみかた



今回は、中学校の通知表についてお話します。通知表は、10月3日(火)の前期終業式で皆さんに渡します。中学校の通知表には次のことが書かれています。

- ①学習成績 1~5の数値で表される「5段階評価」です。
さらに、5段階評価のなかが詳しく分析され、A~Cの記号で表された「観点別評価」というものもあります。
- ②学校生活 委員会・行事でのリーダー・部活動・行動の記録・出席日数などが書かれています。行動の記録では、特に優れている項目に○をつけています。

*本年度より、生徒の様子を文章化した「総合所見」は、後期で記載することになりました。

ほとんどは小学校と同じでしょうが、①の学習成績の表し方は大きく変わります。このことについて、説明します。

★教科の評定について

*評定は、1~5の数値で表します。

5:十分達成されていると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4:十分達成されていると判断されるもの

3:おおむね達成していると判断されるもの

2:努力を要すると判断されるもの

1:いっそう努力を要すると判断されるもの

*それぞれの教科で、皆さんが学んだことをどのくらい達成(学んだことを理解したり、教えてくれた技能を身につけたりすること)しているかを評価しています。

*評価される内容は、授業態度や意欲、定期考査の結果や、ノートやワークの取り組み方、作品のできばえ・運動能力の高さなどを総合的に評価しています。



★教科の観点別評価について

*観点別評価とは、各教科でめざしている「知識や技能、思考力、学ぼうとする姿勢」を達成しているかどうかを、A~Cの観点で評価したものです。

A:十分に満足

B:おおむね満足

C:努力を要する

太宰府中学校の通知表(実際のサイズはA3です)

記載されている評定や所見は、あくまで例です。ご了承ください。

★先生たちの願い

今回、通知表について学年通信を出したのは、ある出来事が気になったからです。

ある学級で授業をしていたとき「どうせおれはオール1だ」と言った人がいました。

おそらく、「テストができなかった」ことが悔しくて、つい投げやりになってしまったのでしょう。確かに5は「相当努力した成果」で、1は「努力を必要とする」ことです。しかし、それは「努力」の成果であって、これからなんとでも変わります。

考え違いして欲しくないことは「5や1はその人全てを表す数値ではない」ことです。この数値を自分や友達の人格を決める偏見(かたよった見方)の材料にしたり、ましてや会話に出して相手や自分を比較したり、見下したりするなどは、絶対許されないことです。

通知表に、評定だけではなく様々な項目があるのは、その人を「数値『だけ』では見ていない」先生達の思いが込められているのです。

どの項目もあなたにとって同じ「価値」です。これらを後期に生かす糧にしてほしいと思います。